

明日のことは

作詞作曲／佐古 誠

F C+ Gm B♭m F C F C

F C+ Gm
明日のことは誰にも 分からないけど
F C7 F
やがて時が来れば 桜は咲く
F C+ Gm B♭m
何もかも色褪せて見える日もあるけど
F C7 F
夜が明けてみれば 素敵な一日かもね

B♭ F
言い争いはもうたくさん
Gm C7 F
皆自分に無いものが欲しい
B♭ F
時が過ぎてみれば そんなこと
Gm C7 F
もうどうでもいいことばかり

F C+ Gm
明日のことは誰にも 分からないけど
F C7 F
やがて気づかないうちに 桑の実は落ちて
F C+ Gm B♭m
何が大切なのかを 気づかないまま
F C7 F
のんびりと生きてきた自分がある

<間奏>

F C+ Gm
何千億もの 銀河の中で
F C7 F
何十億年もの時が流れ
F C+ Gm B♭m
それでも分からないことばかり
F C7 F
自分がどこにいるのかさえも

B♭ F
言い争いはもうたくさん
Gm C7 F
皆自分に無いものが欲しい
B♭ F
時が過ぎてみれば そんなこと
Gm C7 F
もうどうでもいいことばかり

F C+ Gm
明日のことは誰にも 分からないけど
F C7 F
いつか時が来れば 鳥の群れは渡り
F C+ Gm B♭m
何をしていても 何もしなくても
F C7 F
やがて風が吹き 木々の葉は落ちる

/F C+/Gm B♭m/F C7/F

南の島へ

作詞作曲／佐古 誠

C/C/C/C

C G7
どこか遠くの南の島へ誰にも内緒で
G7 C
二人きりで行ってしまおう南の島へ
C G7
お金も要らない 何にもいらない 家は柱と屋根だけ
G7 C
着物も要らない 何にもいらない 君がいればいい

C G7
少し畑を耕して野菜を作り
G7 C C7
海に潜って魚や貝を獲るのが仕事

F7 G7
スコールシャワーだ体を洗え 服も全部脱いで
C C7
気持ちいいぞ！気持ちいいぞ！気持ちいいぞ！

F7 G7
雨が止んだら 腹が減ったぞ 夕食の準備
C
忙しいぞ！忙しいぞ！忙しいぞ！

〔間奏〕

C G7
焚き火をしよう 魚を焼いて 椰子の酒を飲み
C
話をしよう 今日の出来事 今夜のうちに

F7 G7
夜は浜辺でギターを弾いて 歌を歌おう
C
サザンクロスが瞬きがロマンチックな夜

C G7
ベッドに入って 波の音を目を閉じて聞けば
C
まどろむ二人 明日のことは 明日決めればいい

C G7
どこか遠くの南の島へ誰にも内緒で
C
二人きりで行ってしまおう 南の島へ
G7 C G7 C
南の島へ 南の島へ

君のいない日曜日

作詞作曲／佐古 誠

Dm A

君のいない朝は 悲しい青空
A7 D Bm7 E7 A Dm A
一人で飲むコーヒー 一人で見るテレビ
A Bm E7 A Amj7
君のいない朝は ベランダのため息
A7 D Bm7 E7 A Dm A
水やりを忘れていた フラワーポット

A Bm E7 A Amj7 A7 Bm E7 A Dm A
風に揺れて 過ぎる日曜日 君の いない 日曜日

A Em A Em
時が過ぎれば 人も変わるけど
A Bm E7 A
変わらないものもある だからやってゆける
A Em Bm A
積み重なる時間 流れ去る時間
A Bm E7 A
いろんな時間を 一緒に過ごしたね

A Amj7 A7 Bm E7 A Amj7
君のいない朝は 冷たい青空
A7 D Bm7 E7 A Dm A
一人で飲むコーヒー 一人で見るテレビ

A Bm E7 A Amj7 A7 Bm E7 A Dm A
風に揺れて 過ぎる日曜日 君の いない 日曜日

〈間奏〉

A Em Bm A
悲しい時間も 楽しい時間も
A Bm E7 A
いろんな時間を 一緒に過ごしたね

A Amj7 A7 Bm E7 A Amj7
君のいない朝は 悲しい青空
A7 D Bm7 E7 A Dm A
一人で飲むコーヒー 一人で見るテレビ

A Bm E7 A Amj7 A7 Bm E7 A Dm A
風に揺れて 過ぎる日曜日 君の いない 日曜日
Amj7 A7 Bm E7 Dm A
君の いない 日曜日

不思議な人

歌詞原作／須甲孝重 作詞作曲／佐古 誠

D/D/D/D

D A7 D G F#m A7 D A7 D Em A7 D
私という 不思議な人に 今日も出会い 一日を過ごす

D A7 D G F#m A7 D A7 D Em A7 D
私という 不思議な人は 今日も私に 尋ねてくる

G D Em A7 D G D Em A7 D
素敵言葉や 輝く色に 今までずいぶん 出会ってきたけど

G D Em A7 D G D Em A7 D
いつになったら 自分の言葉や 自分の色が 見つかるのだろう

D A7 D G F#m A7 D A7 D Em A7 D
私という 不思議な人と 今日も一日 暮らしている

interlude

D A7 D G F#m A7 D A7 D Em A7 D
私という 不思議な人を 探す旅を 続けてきた

D A7 D G F#m A7 D A7 D Em A7 D
時が流れて 歩き疲れて 立ち止まって 仰ぐ夜空に

G D Em A7 D G D Em A7 D
無数に広がる 星の輝きは 自分の生きた ものがたり

G D Em A7 D G D Em A7 D
苦しみや 悲しみもみんな 私の生きた 大切な証し

D A7 D G F#m A7 D A7 D Em A7 D
私という 不思議な人は 今日もまた 歩き始める

G D Em A7 D G D Em A7 D
自分の言葉で 歌を歌って 自分の色で 絵が描けるまで

G D Em A7 D G D Em A7 D
自分の言葉で 歌を歌って 自分の色で 絵が描けるまで

Em A7 D

Leila

作詞作曲/佐古 誠

AA6A9A/AA6A9A

※ Pausada Boa Viagin Leila
Saudage para Voce Leila

Bm E7 A F#m
どこにいても君を探していたっけ
Bm E7 A E7 AA6A9A
どこにでも君はいたよ 僕の心の中に
E7 A E7 A
アグアケンチの夜 キンピーナスの丘
E7 A E7 AA6A9A/AA6A9A
コパカバーナの太陽 そして君の瞳

※

Bm E7 A F#m
君が僕にくれた笑顔と涙を
Bm E7 A E7 F#m E7
胸の奥に僕は隠して 飛行機に乗った
Bm E7 A F#m
そして僕は君と一緒に歩いている
Bm E7 A E7 AA6A9A
どこにでも君はいるよ いつも心の中に

E7 A E7 A
アグアケンチの夜 キンピーナスの丘
E7 A E7 AA6A9A
コパカバーナの太陽 そして君の瞳
E7 A E7 A
オウロプレート之夜 ポルトベリヨの波
E7 A E7 A
ベロオリゾンテの風 そして君の瞳
E7 A E7 AA6A9A/AA6A9A
そして君の瞳 そして君の瞳

A A6A9A A A6A9A Amj7 A6
Pausada Boa Viagin Leila

Ophelia

作詞作曲／佐古 誠

G C D7 G
オフィーリア 夕日が沈み
G C D7 G
オフィーリア 月がきれい
G Dm Ddim Cm
見えないことの 多い世の中で
Ddim Cm Ddim Cm Cdim D♭ D♭ maj7 D♭ 7
夜空だけは 真実を 教えてくれた
Fm D♭ Fm D♭ Fm D♭ Cm
ちりばめられた 悲しみと 引き換えの 幸せがあるなら
D♭ Cm G Cm
オフィーリア どちらを選ぶ？

G C D7 G
オフィーリア 終わらない冬に
G C D7 G
オフィーリア 夢を見ている
Dm Ddim Cm
春はそこまで 近づいているのに
Ddim Cm Ddim Cm Cdim D♭ D♭ maj7 D♭ 7
小川に流れる 水はまだ冷たく 悲しい夢
Fm D♭ Fm D♭ Fm D♭ Cm
笑いと涙 沈黙の闇と 錯乱の中で 愛はどこにむかう
D♭ Cm G Cm
オフィーリア 終わらない夢？

C Gm
オフィーリア いつか時が来たら
Fm Cm
森の向うにある 丘で花を摘もう
C Gm
オフィーリア 花を髪に挿して
Fm Cm Cdim D♭ D♭ maj7 D♭ 7
渡り鳥が浮かぶ 湖にゆこう 人はみな

Fm D♭ Fm D♭ Fm D♭ Cm
嘘をつき 理不尽に 渦巻く水の 有罪と無罪は
D♭ Cm G Cm
オフィーリア あなたが決める

C Gm
オフィーリア 夕日が沈み
Fm Cm
オフィーリア 月が昇る
C Gm
オフィーリア 終わらない冬に
Fm Cm Cdim D♭ D♭ maj7 D♭ 7
オフィーリア 終わらない夢 沈黙の闇に
Fm D♭ Fm D♭ Fm D♭ Cm
ベラドンナの花 錯乱の中で 踊るあなたに 悲しい運命
D♭ Cm E♭ Cm Cdim D♭ D♭ maj7 D♭ 7 Fm
オフィーリア オフィーリア オフィーリア オフィーリア
D♭ Fm Fm6
オフィーリア

雨の日の語り歌

作詞作曲／佐古 誠

D/D/D/D

D
今日は雨がしっかり降って 大地が潤うのはいいけれど A7
D D7 G Gm D A7 G DA7 D
心の中にまで降り込んで ウエットな気持ちやりきれない
D A7
何が起ころうとも動じないと 思っていたあの頃の自分
D D7 G Gm D A7 G DA7 D D7
何かを捨てるということがこんなに 大変だったとは知らなかった

G D
人生は雨に叩かれた花のように
G D
思い描いた計画通りにいかないものさ
G D F#7 Bm
だからと言って悲観に暮れることもないけど
G A7 G DA7 D
たまには雨宿りも仕方がないさ

D A7
飛沫をあげて降り注ぐ いつまで待っても止みそうにない
D D7 G Gm D A7 G DA7 D
まるで汚れた世界を洗うように 雨はいつまでも降りしきる
D A7
大地を流れる雨のように 川を流れる水のように
D D7 G Gm D A7 G DA7 D D7
自分も生きていければいいと いつも思っているのだけれど

G D
人生は雨に叩かれた花のように
G D
思い描いた計画通りにいかないものさ
G D F#7 Bm
だからと言って悲観に暮れることもないけど
G A7 G DA7 D
たまには雨宿りも仕方がないさ

繰り返し

D A7
今日は雨がしっかり降って 大地が潤うのはいいけれど
D D7 G Gm D A7 G DA7 D
心の中にまで降り込んで ウエットな気持ちやりきれない

あるがままに

作詞作曲／佐古 誠

D Em A7 D

D Em A7 D
山にあれば木漏れ陽を浴び 川にあれば水に潤い

D Em A7 D
旅にあれば人と楽しみ 目を閉じれば泡沫の夢

D Em A7 D
あるがままに生きるのがいい 生まれたままの姿で

D Em A7 D
何故にそれほど駆り立てられて 人は生きねばならぬのか

D Em A7 D
道を行けば花と語らい 空を見上げ風を追いかけ

D Em A7 D
夜のとばりに思い出を紡ぎ 胸の奥に灯りはともる

D Em A7 D
なすがままに生きることだ 夢叶うも叶わぬも良し

D Em A7 D
何故にそれほど駆り立てられて 人は生きねばならぬのか

G D G D D7
時は過ぎもせず 積み重なりもしない

G D Em7 A7
時は流れもせず いつも私はここにいる

間奏

D Em A7 D
あるがままに生きることだ 生まれたままの姿で

D Em A7 D
何にそれほど駆り立てられて 人は生きねばならぬのか

D Em A7 D
山にあれば木漏れ日を浴び 川にあれば水に潤い

D Em A7 D
旅にあれば人と楽しみ 目を閉じれば泡沫の夢

D Em A7 D

夏が来るたび

作詞作曲／佐古 誠

A/A

A E7
夏が来るたび思い出す
A
あの日の君の笑顔
A7 D D#dim
麦藁帽子にきれいな花を飾り
A E7 ADA
裸足で芝生の上ではしゃぐ17歳

A E7
手をつないで歩いた湖のほとり
A
この世に生まれた幸せを感じ
A7 D D#dim
ユーカリの木陰で触れた君の唇
A E7 ADA
二人を黙って見ていたプリマベイヤ

A E7
夢見るような日々は過ぎて
A
旅立った僕とそこに残った君
A7 D D#dim
飛行機の窓から手を振る僕を
A E7 ADA
見つけられず必死に探し続けていた君

間奏

A E7
夏が来るたび思い出す
A
あの日の君の笑顔
A7 D D#dim
僕を好きだと囁いてくれた君が住む
A E7 ADA
ブラジリアの青い空に浮かぶ真っ白な雲
A A7 D D#dim
君は今どこで何をして笑っているの？
A E7 A D#dim A
可愛い麦藁帽子の17歳

若者よ

作詞作曲／佐古 誠

A

若者よ ^{E7} 決して諦めるな ^A 若者よ ^{E7} いつも夢を抱いている ^A

若者よ ^{E7} 決して諦めるな ^A 若者よ ^{E7} いつも夢を忘れるな ^A

もしも社会がお前たちを ^{E7} つまはじきに ^A したとしても ^{E7} ^A

それは社会が間違っているんだ ^{E7} だから落ち込まずに前を見るんだ ^A

大人たちはいつも弱くて小さい ^D てんで弱くて話にもならない ^E ^A

偉そうなことを言って小さな自分を ^{A7} ^D ^A ^{E7} 大きく見せているだけなんだ ^A

若者よ ^{E7} 決して諦めるな ^A 若者よ ^{E7} いつも夢を抱いている ^A

A7 D A E7 A ×2

間奏

壁に当たったらまず身を引くんだ ^{E7} ^A その大きさを ^{E7} 知るために ^A だ

そしてその壁が飛び越せそうなら ^{E7} ^A 勇気を出して飛び越してしまえ ^{E7} ^A

けどその壁が大きく思えて ^{E7} ^A 無理だと思えば遠回りをしろ ^{E7} ^A

人間はいつも弱くて小さい ^D ^A てんで弱くて話にもならない ^{E7} ^A

強がり ^{A7} を言っても所詮は蟻 ^D ^A のように ^{E7} 細々這いずり回っているだけだ ^A

お前たちには捨てるもの ^D ^A なんてない ^{E7} こんな素敵な ^A ことはないんだ ^A

だから決して後ろを振り向くな ^{A7} ^D ^A ^{E7} ^A いつも前を見て生きてゆくん ^A だ

若者よ ^{E7} 決して諦めるな ^A 若者よ ^{E7} いつも夢を抱いている ^A

若者よ ^{E7} 諦めるな ^A 若者よ ^{E7} 夢を忘れるな ^A

明日を思わず

作詞作曲／佐古 誠

G Cmaj7 G A7 D7
今夜は一人で歌を書こう そいつを朝まで歌っていよう
G Cmaj7 G A7 D7
机の上にはノートと鉛筆 消しゴム一個とウイスキー
G B7 Em G7
書きたいことは一杯あるけど 全部は書けない書き切れない
C Cm G E7 A7 D7 G
昔のことや昨日のこと 自分のことやあなたのこと

G Cmaj7 G A7 D7
酒を飲んで夜空を仰ぐ 闇にきらめく無数の星
G Cmaj7 G A7 D7
春まだ浅き弥生の月 冷たい夜風に震えている
G B7 Em G7
人間てホントに小さいよね とてつもなく小さいよね
C Cm G E7 A7 D7 G
ちっぽけなこの地球に うごめいて暮らしている

G Cmaj7 G A7 D7
まるで違った世界に飛んで 夢を探し回ったこともある
G Cmaj7 G A7 D7
でも最後に見つけたものは 結局自分自身だけ
G B7 Em G7
どこにいても人は同じ どこにいても自分は自分
C Cm G E7 A7 D7 G
付きまとう影のように 俺は俺から逃げられない

B7 Em A7 D7 G
強気を気取ることは誰でもできる 弱気を晒すことは難しい
B7 Em A7 D7 G
本当に悲しいこともあるだろうに やせ我慢をしているのか
G7 C G A7 D7 G
泣きながら燃やした手紙や 思い出の詰まった写真
G7 C G Em A7 D7
海辺の錆びた錨のような 捨てられない過去

G Cmaj7 G A7 D7
俺はなぜ笑いなぜ泣くのか 実はそれが今も分からない
G Cmaj7 G A7 D7
今まで俺は誰を笑わせて 誰を泣かせてきたんだろう
G B7 Em G7
何を失ったのか気づかないまま 過ぎ去った俺の過去よ
C Cm G E7 A7 D7 G
まるで風が吹くように 過ぎてしまった俺の過去よ

G Cmaj7 G A7 D7
人生は素焼きの器に幸せと 悲しみを満たしてゆくようなもの
G Cmaj7 G A7 D7
いつかそれが滲みだしてきて 人の心を揺らすのです
G B7 Em G7
明日を思わず昨日も忘れて 今日一日を暮らすのがいい
C Cm G E7 A7 D7 G
風のように歌いながら あなたと二人で笑いながら
C Cm G E7 A7 D7 G
風のように歌いながら あなたと二人で笑いながら

やっぱりあなたが

作詞作曲／佐古 誠

Dmaj7 B7 Em7
やっぱりあなたが好きだったみたい
A7 Dmaj7
目を覚ますとあなたが浮かび
Dmaj7 B7 Em7
夜寝る時もあなたの笑顔
A7 Dmaj7
夢の中でも一緒に遊んでる

Dmaj7 B7 Em7
窓の外の雨の音に
A7 Dmaj7
優しい仕草を思い出し
Dmaj7 B7 Em7
雪が舞う真っ白な夜は
A7 Dmaj7
あなたに書いた歌を歌う

Interlude

Dmaj7 B7 Em7
胸が痛いほど懐かしい日々
A7 Dmaj7
あなたに手紙を書きたいけど
Dmaj7 B7 Em7
あなたは今どこにいるの？
A7 Dmaj7 A7 Dmaj7
やっぱり私はあなたが好きだったみたい